

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かいんどはびすま		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 14日		令和7年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 14日		令和7年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別のマンツーマンの療育→支持が入りやすく、できる事を増やすことができること	・お子様の成長に合わせて、支援内容や、内容数（1回）を支援者が工夫して準備している。その日の体調や、気持ちに合わせて、臨機応変に内容の変更もできる。保護者の要望や、主訴によって長期目標を立てて本人と保護者に達成感を味わってもらえるような療育を心がけている。	・短期目標としては、支援者と信頼関係を構築して、場所にも慣れて楽しんで通所していただけるよう要望や、意見をくみ取れるような場所と時間を設けるようにする。 ・楽しい支援内容につながる為に、工夫やアイデアが出せるように常に、支援者も学ぶ姿勢を惜しまない。また支援内容の職員間の共有をして、支援に反映させていけるようにする。
2	・利用者それぞれに合わせた、オーダーメイドの療育。→お子さまに合わせて、保護者のご要望も含めて、毎回違う内容の支援内容で療育ができること	・出来たを増やし、自信につなげてもらえるよう促している。学習や、コミュニケーションでの躓きの理由を補助して経験値を高めて、成功体験を多く積んで、あらゆる生活の場面、特に集団の生活での困り感を軽減することができるようにしている。	・ご要望に沿って、課題に楽しんで取り組み、習得して成功体験から自信を持って、他者と関わられるように支援方法を学び、状況や成長に併せて、随時変更していけるように支援者も成長する為の学びを深めていく。 ・お子様と共に、保護者の不安や、困り感に気づきやすい環境を作っていく。
3	・保護者様と毎回顔を合わせ、当日の様子と今後の支援などをお話するフィードバックという時間がある。→家庭や学校などの様子を共有でき、支援内容に活かすことができること	・年齢の低いお子さんの支援内容は、保護者の要望と本人の興味関心のある事を織り交ぜながら、目標に向かって成長していけるように支援内容・課題・教材などを工夫している。 ・相談は、随時受け入れて、集団での相談も座談会という形式で実施している	・支援内容が保護者の要望に偏りがちになる。お子さん本人が楽しく取り組めるように折り合いをつけることが大きな課題もある。 ・支援者が、子供達の苦手意識のある課題も嫌いだけれど楽しく取り組めるような知識と方法を身に付ける為に学んでいくけるようにする。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別で短時間の支援なので、学習理解の定着が難しいこと	・個人差やそれぞれの学校からの宿題の量などの違いがあるため ・予定時間があるため療育時間（個別）日々の宿題や音読などをていねいに進めることで時間が足りなくなってしまうため	・一人一人の状況を把握し、お子様に寄り添いながら、学習支援をしていく必要がある。
2	・コミュニケーションの練習などは机上の練習だけでは想像力や、支援者とのやり取りからでは実践できないケースがあること	・SSTやABAなどを繰り返し行うものの、実際の場面では机上での学習では限界があるため、体験活動や人と接することを多く取り入れることで体感させていく必要がある	・机上でのSSTを充実させるために、支援者がやり取りの術を向上させるために学んでいく。
3	・ご利用希望者の方が多いが、退会者も少なく、支援が必要だと思われるお子さん達にご利用いただけない事	早期療育の大切さを知っていただき、年齢が低い時から支援させていただける様に周知活動を行っていく。	・「誰にだって輝ける舞台がある」どのお子さんにも無限の可能性のある事、可能性を引き出すサポートをさせていただく、保護者とお子さんにとって優しく笑顔の多い居場所となるように努めていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かいんどはびすま

公表日 令和7年 3月 31日

利用児童数 令和7年 3月 31日

回収数 対象人数30人中7人

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1				・個別や集団を分けての療育では手狭になることもあるが、子どもたちが満足で着るように配置している。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1				・十分に配置数は満たしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					・バリアフリー化はなされていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1				・月の療育計画にもg領域のどの領域の活動家を明確化している。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1				・保護者との定期的な面談や、地域のイベントへの積極的な参加を心がけている。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1			・他施設交流や児童クラブとの交流を行っている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7					
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1				・避難訓練等の実施の様子はSNS等でお知らせしている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1				・令和7年度には救急救命講習とともに引き渡し訓練を実施する予定である。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1				・次年度子どもたちが楽しく通所できるように療育を行っていきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	かいんどはびすま				公表日	令和7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	・状況に応じて戸をはずす等の工夫がある。	・利用者がこれ以上増えると狭いと感じることもあるかもしれない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	・1対1を基本に療育に携われるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2	・安全な物の配置、季節によって視覚的に飾りがある。	・バリアフリー化への対応はなし
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	・年中行事を意識した教室環境を整え、清潔で安全で過ごせるように配慮している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	・部屋で分けるだけでなく、パーティションを使い個別の空間を作れるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	0	・児童への対応方法など会議を開いているので参画しやすい。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・研修等で共通理解を図れるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・意見しやすい環境が整っている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	1	・保護者の意見や考えは真摯に受け止め、業務改善に努めている。	・評価を共通理解を図り、今後の業務改善につなげていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	・様々な研修には積極的に参加出来るように職員への声かけを行っている。	・内部、外部どちらの研修もさらに増やしてほしい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	・療育プログラムにおいては、振り返りを行い、評価、計画のねり直しなど随時向上できるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	・半年に1回、保護者、通園先の先生にお願いし、アセスメントを取るようになっている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・子どもたちとの関わりの中で感じたことや疑問点を常に検討できる職員間の雰囲気作りを努めている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	・療育の際に確認できるようなファイルを作り、検討だけでなく、常に身近に支援計画が見られる工夫をしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	・随時確認している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・設定している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	・計画的に立案ができるように日程を調整している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	・5領域をまんべんなく実施できるように配慮するとともに、一度行った物も改善をしながら取り組めるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・個別、集団の時間を確保しながら療育を行っている	・さらに改善できるように努力していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	・朝の打ち合わせ、昼後にもミニ打ち合わせを行っている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	・支援終了後はその日の療育の様子だけでなく、今後の療育についても話し合っている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	・療育内容に合わせて、評価と一体化した記録を心がけている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・担当職員を中心にモニタリングを行うようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせながら支援を行っているか。	13	0	・5領域の中に「4つの基本活動」を組み合わせながら療育を行っている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0	・自己選択を進んでしていけるような療育を心	・さらに改善できるように努力していきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	・児発管を中心に担当職員が同席するケースや担当職員ができるだけ会議に参加出来るようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	・面談を行い、支援計画等の共通理解を図れるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	・関係機関とは連携を図り、ダブルチェックを	・さらに改善できるように努力していきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	0	・面談を行い、支援計画等の共通理解を図れるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	1	・現在、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する生徒はいないが、必要に応じて対応して行きたい。	・現在該当する利用者はいないが、将来的に必要な場合があるかもしれない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	1	地域に児童発達センターが無いため連携が難しい状況である。市内の研修会等には積極的に参加している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	1	他施設交流などを積極的に行っている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13	0	・時間に都合がつく限り参加している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	・面談だけでなく、送迎の際に気軽に話し合える雰囲気作りを努めている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	・保護者おしゃべり会を行い、SSTやABAなどの研修を行っている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	・契約の際に詳しく説明を行っている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	・面談を通して保護者の思いや相談支援員の方との話し合い、通関先の職員との話を元に計画を立てるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0	・面談の際に項目を確認しながら説明を行い、同意を得る用になっている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・不安や心配なことがあればいつでも連絡ができるような関係を気付けるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13	0	・保護者おしゃべり会やイベントへの兄弟への参加などを促す活動を積極的に行っている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	・対応している	・さらに改善できるように努力していきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0	・ホームページやSNSを使い活動の様子を全体にお知らせするだけでなく個別に活動の様子を具体的にお知らせしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・十分注意している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・配慮できるように心がけている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	1	・市役所でのワークショップへの参加や大型ショッピングモールでのワークショップなど地域の方とのふれあいの場を設定している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	・マニュアルの策定だけでなく、訓練をしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	・業務継続計画の策定や訓練をしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0	・服薬状況確認している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1	・食物アレルギーについては、契約の際に確認している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	・安全計画を作成し、担当職員が役割を意識して行動できるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	・引き渡し訓練の実施など様々な災害に対応できるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・どんなに小さなケガでも、ヒヤリハット事案として共通理解を図り再発防止に努めている。	・さらに改善できるように努力していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	・虐待防止マニュアル等を確認し、お子様が安心して療育できる場となるように配慮している。	・さらに改善できるように努力していきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0	・身体拘束マニュアル等を確認し、お子様が安心して療育できる場となるように配慮している。	・さらに改善できるように努力していきたい。	